

05 先輩からの応援メッセージ

石州和紙の魅力に惹かれ浜田応援団へ
〜浜田にある「普通な特別」に気づいて欲しい〜



遠藤光信さん

Photo @市役所裏浜田川沿い

東京都在住。
商業施設や店舗の空間デザインを扱う企業に勤務。
石州和紙の魅力に惹かれ2020年夏に浜田応援団に登録。

6～7年ほど前から地方の人口減少問題に触れる機会があり、自分の活動範囲で対応できる仕事を少しずつ増やしてきました。暮らしは普通の民間人ですw。浜田市に興味を持ったのは石州和紙の魅力がきっかけでしたが、沢山の素敵な浜田市を知ることが出来、ちょっとワクワクしています。

今回の投書が浜田で暮らす若い人達に、ご自分を取り巻く豊かな環境を見直すきっかけの1つに、なったら望外の慶びであると考えて。

遠くに行った時、そこにある普通は、訪れた私達にとっては「特別」、そんな事に沢山出会います。自然環境やそこに住む人達が、長い時間と共に培ってきた知恵や収穫物、文化・芸術が多くの人を驚かせます。

1つの「モノ」や「コト」に対する印象は様々だけど、その地で育まれた工夫や文化が、感動や驚きを生み出します。そして、都会にはそんな「特別」の、ほんの少しずつが世界中から集められ、切り取られ、編集されて一過性の刺激（流行）を撒き散らして消費しています。

若さは、そんな刺激を求めて、自分の環境を変えてみたいという衝動をひき起こします。それは可能性への挑戦の1つ。だけど居ながらにして、世界中の出来事や流行がリアルに分かってしまう事が今の世の中の普通です。刺激を求め都会に暮らす事は、既に「余りカッコ良くないかなあ。」と思います。授業も仕事も殆どが遠隔で出来ちゃう事にみんな気付いてしまったわけだし。

浜田は豊かな自然と美味しい食べ物、そして言葉（文化）を記す為の「和紙」の素敵な歴史が有るばかりで無く、北前船がもたらした様々な異文化や、精巧な技術等が沢山有るのですから。そんな「普通な特別」に気付いて欲しいと思います。

外に行ってみるのは、それからでも遅くないかな。
だって、刺激って求めるよりも提供する方が楽しいと思いますよ、きっと。

